

[01_1] 統計科学研究表紙会報等

<https://hdl.handle.net/2324/12708>

出版情報：統計科学研究. 1 (1), 1956-01. 統計科学研究会
バージョン：
権利関係：

創 刊 の 辞

委員長 北川 敏 男

統計科学研究会は、1941年創立当時並びに戦後1949年迄、邦文雑誌「統計数理研究」を刊行し、1950年に至つてこれをあらためて欧文雑誌「Bulletin of Mathematical Statistics」として、我國の数理統計学の海外への普及紹介並びに■際的地位の向上に努力して今■に至つた。本会は今後も一層同誌の内容充実につとめ一層の成果をあげて行くつもりである。

しかし一方において、■内の統計科学研究者相互間の研究連絡を一層緊密にする要望が近年、この学向の多方面にわたる発達普及につれて極めて大きくなつてきた。過去15年間の本会の歩みを顧みると、常に學術研究団体の立場を堅持し、その立場からみて最も妥当な方面にのみ主力をそそいできた。普及啓蒙の運動もその限りにおいて努力してきた。幸ひにして、特殊の応用方面に限定し、普及を主とした定期刊行物もすでに多数あつて、わが国の統計科学の水準はこの15年に面目をあらためたといつてよい。このような水準向上を更に推進して行くために、統計科学の理論及び実地方面に関心をもち研究をつゞけている国内各方面の学者、技術者に共通の研究発表の広場を提供、研究促進、學術情報の交換に寄与するのが本誌の目標とするところである。

この和文雑誌は會員各位の熱心な要望によつて産れてきた。15年以前とちがつてわれわれは、あえて統計数理という必要もなくなつた。なぜならば、若干の統計数理の伴うことは当然だからである。統計科学の概念も實質的にはすでに認識されてきている今日である。創立15年にして本会の名称を冠した和文研究発表機関を発刊し、その発展を期望し得ることは、本会の深く喜びとするところである。

本会は、この研究発表機関により、特に若い研究者の生育にも貢献し得ることを期待したい。
